



証券コード: 4523

2025年度（2026年3月期）
第2四半期（中間期）決算

参考資料

2025年11月5日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部: TEL 03-3817-5120

IR部: TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、各国の関税政策変更、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 株式の状況	17
12. 従業員数	17
13. 主要開発品	18

為替レート

		米国 (米ドル／円)	欧州 (ユーロ／円)	英国 (ポンド／円)	中国 (人民元／円)
2024年度 中間期	期中平均レート	152.63	165.94	195.46	21.14
	期末日レート	142.73	159.43	191.03	20.46
2024年度 通期	期中平均レート	152.57	163.74	194.61	21.10
	期末日レート	149.52	162.08	193.82	20.59
2025年度 中間期	期中平均レート	146.03	168.05	195.95	20.29
	期末日レート	148.88	174.47	199.86	20.88
2025年度	予想レート	148.00	157.00	188.00	20.80

- ・ 当社の連結財務諸表はIFRS会計基準にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2024年度				2025年度				2025年度	
	中間期	売上比	通期	売上比	中間期	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	3,850	100.0	7,894	100.0	4,000	100.0	103.9	150	7,900	100.0
売上原価	823	21.4	1,688	21.4	881	22.0	107.1	59	1,825	23.1
売上総利益	3,028	78.6	6,206	78.6	3,119	78.0	103.0	91	6,075	76.9
販売費及び一般管理費	1,970	51.2	4,080	51.7	2,040	51.0	103.6	71	3,960	50.1
販売費	1,006	26.1	2,091	26.5	1,106	27.6	110.0	100	—	—
人件費	647	16.8	1,301	16.5	622	15.6	96.1	△25	—	—
管理費他	317	8.2	688	8.7	312	7.8	98.5	△5	—	—
研究開発費	818	21.2	1,716	21.7	755	18.9	92.4	△62	1,665	21.1
その他の収益	55	1.4	172	2.2	28	0.7	49.8	△28	95	1.2
その他の費用	17	0.4	38	0.5	7	0.2	38.9	△11	—	—
営業利益	278	7.2	544	6.9	344	8.6	123.6	66	545	6.9
金融収益	53	1.4	102	1.3	49	1.2	91.1	△5	—	—
金融費用	17	0.4	35	0.4	24	0.6	142.7	7	—	—
税引前中間(当期)利益	315	8.2	611	7.7	369	9.2	117.1	54	590	7.5
法人所得税	85	2.2	130	1.6	111	2.8	130.6	26	—	—
中間(当期)利益	231	6.0	481	6.1	259	6.5	112.2	28	435	5.5
中間(当期)利益の帰属										
親会社所有者	217	5.6	464	5.9	246	6.2	113.5	29	415	5.3
非支配持分	14	0.4	16	0.2	12	0.3	90.4	△1	—	—

中間(当期)包括利益	△21	△0.5	432	5.5	373	9.3	—	394
------------	-----	------	-----	-----	-----	-----	---	-----

EPS(円)	76.13	163.76	87.37	147.20
DPS(円)	80.0	160.0	80.0	160.0
ROE(%)	—	5.4	—	5.0
DOE(%)	—	5.3	—	5.4

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS: 基本的1株当たり中間(当期)利益、DPS: 1株当たり配当金、ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE: 親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	・アルツハイマー病治療剤「レケンビ」、不眠症治療剤「デエビゴ」および抗がん剤「レンビマ」が引き続き伸長
■販売費及び一般管理費	・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上: 当期 756億円、前年同期 739億円
■研究開発費	・開発テーマの見直しや費用効率化の追求、円高の進行の影響により減少 ・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制(パートナー負担額: 当期 149億円、前年同期 283億円)
■その他の収益	・前年同期に抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関するBristol Myers Squibbとの戦略的提携契約の終結に伴い、預り金の取崩益48億円を計上
■為替による影響額	・売上収益: △101.4億円、営業利益: △13.9億円
■為替感応度 (1円の円高に対しての年間影響額)	・売上収益: 米ドル △19.3億円、ユーロ △2.7億円、英ポンド △0.6億円、人民元 △63.4億円 ・営業利益: 米ドル +4.5億円、ユーロ △0.2億円、英ポンド +0.6億円、人民元 △34.9億円

2. セグメント情報

1) 売上収益

(億円、%)

	2024年度		2025年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	3,730	7,490	3,933	105.4	108.1
日本 医薬品事業	1,073	2,163	1,125	104.9	104.9
アメリカス 医薬品事業	1,370	2,783	1,417	103.4	108.1
米国	1,337	2,710	1,375	102.8	107.5
中国 医薬品事業	597	1,155	662	110.9	115.6
EMEA 医薬品事業	395	794	388	98.2	97.0
イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業	295	596	341	115.7	119.5
その他事業	120	404	67	56.2	58.3
連結売上収益	3,850	7,894	4,000	103.9	106.5

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2024年度		2025年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	1,793	3,505	1,861	103.8	106.9
日本 医薬品事業	365	717	368	100.8	100.8
アメリカス 医薬品事業	794	1,583	832	104.8	109.2
中国 医薬品事業	306	572	321	105.2	110.2
EMEA 医薬品事業	191	359	171	89.7	88.5
イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業	137	274	169	123.0	128.6
その他事業	83	296	31	37.7	42.9
研究開発費	△716	△1,503	△660	92.3	94.8
親会社の本社管理費等	△881	△1,754	△888	100.8	103.9
連結営業利益	278	544	344	123.6	128.6

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	1,073	2,163	1,125	104.9
医療用医薬品	959	1,938	1,011	105.4
一般用医薬品等	114	225	115	100.6
セグメント利益	365	717	368	100.8
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
不眠症治療剤 デエビゴ	212	445	220	103.8
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	42	127	117	276.9
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	72	148	87	120.8
抗がん剤 レンビマ	69	139	70	101.8
慢性便秘症治療剤 ゲーフィス*	39	78	43	112.7
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	43	86	41	95.4
慢性便秘症治療剤 モビコール*	37	76	41	110.7
抗てんかん剤 フィコンパ	38	77	41	105.7
成分栄養剤 エレンタール*	37	71	35	96.8
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	30	60	35	117.8
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	32	63	34	106.0
抗がん剤 ハラヴェン	38	69	16	42.2
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	77	152	81	105.3

* EAファーマの取り扱い製品です。

2)アメリカス 医薬品事業(北米)

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	1,370	2,783	1,417	103.4
米国	1,337	2,710	1,375	<108.1> 102.8
セグメント利益	794	1,583	832	<107.5> 104.8
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	1,159	2,323	1,144	98.7
米国	1,147	2,296	1,131	<103.2> 98.6
(百万米ドル)	(751)	(1,505)	(774)	<103.1>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	105	261	193	184.2
米国	105	261	193	<192.6> 184.2
(百万米ドル)	(69)	(171)	(132)	<192.6>
不眠症治療剤 デエビゴ	31	68	42	134.1
米国	15	30	16	<141.1> 108.7
(百万米ドル)	(10)	(20)	(11)	<113.6>
抗がん剤 ハラヴェン	49	75	17	34.7
米国	48	73	16	<36.3> 33.3
(百万米ドル)	(31)	(48)	(11)	<34.8>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3)中国 医薬品事業

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	597	1,155	662	110.9 <115.6>
セグメント利益	306	572	321	105.2 <110.2>
中国 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	131	248	127	96.8 <100.9>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	15	47	79	542.2 <565.0>
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	63	115	64	101.7 <105.9>
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	78	142	63	80.4 <83.8>
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	41	86	47	112.7 <117.4>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	39	77	44	112.1 <116.8>
筋緊張改善剤 ミオナール	39	69	40	100.6 <104.8>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	41	73	39	96.0 <100.0>
抗てんかん剤 フィコンパ	22	42	26	117.7 <122.6>
不眠症治療剤 デエビゴ	1	3	10	909.4 <948.2>
抗がん剤 ハラヴェン	12	22	7	56.7 <59.1>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・レケンビの売上収益は、2025年度1Qに代理店が関税リスク対応として在庫を積み増した影響を含みます。

4) EMEA 医薬品事業(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	395	794	388	98.2 <97.0>
セグメント利益	191	359	171	89.7 <88.5>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ／Kisplyx	212	419	231	109.0 <107.1>
抗てんかん剤 フィコンパ	75	157	81	108.5 <107.3>
抗がん剤 ハラヴェン	46	87	15	31.9 <31.7>
不眠症治療剤 デエビゴ	2	4	5	290.3 <301.2>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	1	3	4	331.2 <329.9>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
売上収益	295	596	341	115.7 <119.5>
セグメント利益	137	274	169	123.0 <128.6>
イーストアジア・グローバルサウス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	77	156	93	120.3 <125.3>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	73	142	75	103.7 <107.9>
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	21	43	19	91.0 <92.7>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	24	42	19	81.6 <84.6>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	0	4	19	8669.1 <9218.8>
抗がん剤 ハラヴェン	18	35	18	102.1 <106.0>
不眠症治療剤 デエビゴ	7	18	14	193.2 <194.2>
抗てんかん剤 フィコンパ	10	21	11	114.8 <116.9>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4. 主力品売上収益

1)ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
ニューロロジー領域製品計	930	1,999	1,231	132.4 <135.2>
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	163	443	411	252.6 <260.7>
日本	42	127	117	276.9
アメリカス	105	261	193	184.2 <192.6>
中国	15	47	79	542.2 <565.0>
EMEA	1	3	4	331.2 <329.9>
イーストアジア・グローバルサウス	0	4	19	8669.1 <9218.8>
デエビゴ(不眠症治療剤)	253	538	291	115.0 <116.1>
日本	212	445	220	103.8
アメリカス	31	68	42	134.1 <141.1>
中国	1	3	10	909.4 <948.2>
EMEA	2	4	5	290.3 <301.2>
イーストアジア・グローバルサウス	7	18	14	193.2 <194.2>
フィコンバ(抗てんかん剤)	147	298	160	108.9 <109.1>
日本	38	77	41	105.7
中国	22	42	26	117.7 <122.6>
EMEA	75	157	81	108.5 <107.3>
イーストアジア・グローバルサウス	10	21	11	114.8 <116.9>
メチコバル(末梢性神経障害治療剤)	136	267	137	101.2 <103.7>
日本	43	86	41	95.4
中国	63	115	64	101.7 <105.9>
イーストアジア・グローバルサウス	21	43	19	91.0 <92.7>
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	129	251	131	101.1 <104.9>
中国	39	77	44	112.1 <116.8>
イーストアジア・グローバルサウス	73	142	75	103.7 <107.9>
その他	102	203	101	99.1 <100.5>

・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・中国におけるレケンビの売上収益は、2025年度1Qに代理店が関税リスク対応として在庫を積み増した影響を含みます。

2)オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	前同比
オンコロジー領域製品計	1,854	3,658	1,776	95.8 <99.0>
レンビマ／Kispalyx(抗がん剤)	1,649	3,285	1,665	101.0 <104.5>
日本	69	139	70	101.8
アメリカス	1,159	2,323	1,144	98.7 <103.2>
中国	131	248	127	96.8 <100.9>
EMEA	212	419	231	109.0 <107.1>
イーストアジア・グローバルサウス	77	156	93	120.3 <125.3>
ハラヴェン(抗がん剤)	163	288	73	44.6 <45.6>
日本	38	69	16	42.2
アメリカス	49	75	17	34.7 <36.3>
中国	12	22	7	56.7 <59.1>
EMEA	46	87	15	31.9 <31.7>
イーストアジア・グローバルサウス	18	35	18	102.1 <106.0>
その他	43	85	38	88.7 <91.1>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し(2025年度)

(億円)

	2024年度		2025年度	
	中間期	通期	中間期	通期予想
日本	1,073	2,163	1,125	2,255
医療用医薬品	959	1,938	1,011	2,025
デエビゴ(不眠症治療剤)	212	445	220	460
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	42	127	117	240
レンビマ(抗がん剤)	69	139	70	130
フィコンパ(抗てんかん剤)	38	77	41	90
メチコバル(末梢性神経障害治療剤)	43	86	41	86
グーフイス*(慢性便秘症治療剤)	39	78	43	85
モビコール*(慢性便秘症治療剤)	37	76	41	76
エクフィナ(パーキンソン病治療剤)	32	63	34	67
エレンタール*(成分栄養剤)	37	71	35	65
リーバクト*(分岐鎖アミノ酸製剤)	30	60	35	60
一般用医薬品等	114	225	115	230
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等	77	152	81	150
チョコラBBグループ				
アメリカス	1,370	2,783	1,417	2,730
米国	1,337	2,710	1,375	2,630
中国	597	1,155	662	1,240
EMEA	395	794	388	710
イーストアジア・グローバルサウス	295	596	341	610
その他	120	404	67	355
連結売上収益	3,850	7,894	4,000	7,900
主要品目の売上収益				
レンビマ/Kispilyx	1,649	3,285	1,665	3,120
日本	69	139	70	130
アメリカス	1,159	2,323	1,144	2,175
中国	131	248	127	250
EMEA	212	419	231	410
イーストアジア・グローバルサウス	77	156	93	155
レケンビ	163	443	411	765
日本	42	127	117	240
アメリカス	105	261	193	400
中国	15	47	79	95
デエビゴ	253	538	291	580
日本	212	445	220	460
アメリカス	31	68	42	90
フィコンパ	147	298	160	315
日本	38	77	41	90
中国	22	42	26	50
EMEA	75	157	81	155
イーストアジア・グローバルサウス	10	21	11	20

* EAファーマの取り扱い製品です。

・中国におけるレケンビの売上収益は、2025年度1Qに代理店が関税リスク対応として在庫を積み増した影響を含みます。

6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2024年度		2025年度		
	中間期	通期	中間期	前同比	増減額
中間(当期)利益	231	481	259	112.2	28
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	9	11	34	387.0	25
確定給付制度に係る再測定	—	9	—	—	—
小計	9	20	34	387.0	25
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	△260	△71	82	—	342
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△0	1	△1	—	△1
小計	△260	△69	81	—	341
その他の包括利益合計	△251	△49	115	—	366
中間(当期)包括利益	△21	432	373	—	394
中間(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	△34	415	361	—	395
非支配持分	13	16	12	91.8	△1

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益	315	369	54
減価償却費及び償却費	200	195	△5
減損損失	0	13	13
運転資本の増減額(△は増加)	△396	△276	120
利息及び配当金の受取額	52	43	△10
利息の支払額	△12	△19	△7
法人所得税の支払額	△111	△69	41
法人所得税の還付額	17	—	△17
その他	△57	△33	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	9	223	214
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△58	△70	△12
無形資産の取得による支出	△17	△39	△21
有形固定資産・無形資産の売却による収入	94	1	△93
子会社の取得による支出	—	△126	△126
共同支配企業に対する投資による支出	△3	—	3
金融資産の取得による支出	△31	△7	25
金融資産の売却・償還による収入	23	114	90
小計<資本的支出等(キャッシュベース)>	8	△126	△134
3カ月超預金の預入による支出	—	△0	△0
3カ月超預金の払戻による収入	0	0	0
その他	△0	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	8	△128	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(△は減少)	242	486	244
長期借入れによる収入	—	350	350
長期借入金の返済による支出	△0	△350	△350
リース負債の返済による支出	△50	△52	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5	△5
自己株式の取得による支出	△291	△0	291
配当金の支払額	△230	△226	4
その他	△3	△5	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331	199	530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	67	113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△361	361	722
現金及び現金同等物の期首残高	3,047	2,656	△391
現金及び現金同等物の期末残高	2,686	3,016	330

フリー・キャッシュ・フロー	17	96	79
---------------	----	----	----

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
運転資本は、「レケンビ」等についての棚卸資産が増加したことに加え、未払費用の減少などにより増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
金融資産の売却による収入があった一方で、子会社の取得による支出が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払いを実施した一方で、短期借入金が増加

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2024年度		2025年度		
	中間期	通期	中間期	増減額	通期予想
資本的支出額(キャッシュベース)	75	230	109	33	365
有形固定資産	58	119	70	12	210
無形資産	17	110	39	21	155
減価償却費及び償却費	200	399	195	△5	395
有形固定資産	113	227	110	△3	225
無形資産	87	172	85	△2	170

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2024年度		2025年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,581	11.4	1,544	10.7	97.7	△37
のれん	2,334	16.8	2,420	16.8	103.7	86
無形資産	753	5.4	736	5.1	97.8	△17
その他の金融資産	647	4.7	545	3.8	84.2	△102
その他	260	1.9	265	1.8	101.7	4
繰延税金資産	1,013	7.3	962	6.7	95.0	△51
非流動資産合計	6,589	47.5	6,473	45.0	98.2	△116
流動資産						
棚卸資産	2,159	15.6	2,365	16.4	109.5	206
営業債権及びその他の債権	2,200	15.9	2,241	15.6	101.8	40
その他の金融資産	5	0.0	5	0.0	97.7	△0
その他	257	1.9	281	2.0	109.2	24
現金及び現金同等物	2,656	19.2	3,016	21.0	113.6	361
流動資産合計	7,277	52.5	7,907	55.0	108.7	630
資産合計	13,865	100.0	14,380	100.0	103.7	515

<コメント>

■資産の部

(棚卸資産)

「レケンビ」等の生産を進めたことなどによる在庫の増加

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2024年度		2025年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.2	450	3.1	100.0	—
資本剰余金	748	5.4	743	5.2	99.3	△5
自己株式	△423	△3.1	△423	△2.9	100.0	0
利益剰余金	5,119	36.9	5,173	36.0	101.1	54
その他の資本の構成要素	2,520	18.2	2,601	18.1	103.2	81
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,414	60.7	8,544	59.4	101.5	130
非支配持分	246	1.8	253	1.8	103.2	8
資本合計	8,660	62.5	8,798	61.2	101.6	138
負債						
非流動負債						
借入金	998	7.2	1,348	9.4	135.0	349
その他の金融負債	344	2.5	331	2.3	96.2	△13
引当金	14	0.1	15	0.1	102.6	0
その他	119	0.9	97	0.7	81.6	△22
繰延税金負債	7	0.1	10	0.1	132.0	2
非流動負債合計	1,483	10.7	1,800	12.5	121.4	317
流動負債						
借入金	877	6.3	1,019	7.1	116.2	142
営業債務及びその他の債務	916	6.6	807	5.6	88.2	△108
その他の金融負債	154	1.1	161	1.1	104.8	7
未払法人所得税	43	0.3	88	0.6	206.7	45
引当金	356	2.6	469	3.3	131.7	113
その他	1,377	9.9	1,237	8.6	89.8	△140
流動負債合計	3,723	26.9	3,782	26.3	101.6	60
負債合計	5,206	37.5	5,582	38.8	107.2	376
資本及び負債合計	13,865	100.0	14,380	100.0	103.7	515

<コメント>

■資本の部

(その他の資本の構成要素) 為替の影響による在外営業活動体の換算差額の増加

■負債の部

(借入金—流動) 短期借入金の増加
(営業債務及びその他の債務) 主に未払金の減少
(その他—流動) 主に未払費用の減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	1,890	1,960	2,161	1,882	2,027	1,974
売上原価	398	425	459	406	426	455
売上総利益	1,493	1,535	1,702	1,476	1,601	1,518
販売費及び一般管理費	995	974	1,045	1,065	1,002	1,039
販売費	513	493	550	536	541	565
人件費	327	321	324	330	309	313
管理費他	156	161	172	200	152	160
研究開発費	417	400	436	463	388	367
その他の収益	55	0	59	57	3	25
その他の費用	1	16	4	16	6	1
営業利益	134	144	276	△10	207	137
金融収益	33	21	28	21	26	23
金融費用	7	9	8	11	9	14
税引前四半期利益	160	156	296	△0	224	145
法人所得税	45	40	52	△6	71	40
四半期利益	115	116	244	6	153	105
四半期利益の帰属						
親会社所有者	106	111	238	9	145	102
非支配持分	9	4	6	△3	9	4
四半期包括利益	526	△547	775	△323	111	263
EPS(円)	36.95	39.17	84.38	3.37	51.35	36.03

・EPS: 基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86	95	△1	293	11	212
投資活動によるキャッシュ・フロー	36	△28	5	△113	△94	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119	△212	89	△336	261	△62
現金及び現金同等物の期末残高	3,039	2,686	2,913	2,656	2,854	3,016
フリー・キャッシュ・フロー	△50	67	4	178	△82	179

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資本的支出額(キャッシュベース)	46	29	44	111	71	37
有形固定資産	36	22	28	33	45	25
無形資産	10	7	15	78	26	13
減価償却費及び償却費	101	100	100	98	97	98
有形固定資産	57	56	57	57	55	55
無形資産	44	43	43	41	42	43

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2024年度				2025年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産	14,202	13,214	14,329	13,865	14,096	14,380
資本	9,197	8,443	8,983	8,660	8,535	8,798
親会社の所有者に帰属する持分	8,958	8,201	8,734	8,414	8,285	8,544
負債	5,006	4,771	5,346	5,206	5,561	5,582
借入金	1,823	1,829	2,191	1,875	2,389	2,367
親会社所有者帰属持分比率(%)	63.1	62.1	61.0	60.7	58.8	59.4
負債比率(Net DER／倍)	△0.16	△0.13	△0.11	△0.12	△0.08	△0.10

・負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金)－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ニューロロジー領域製品計	443	486	549	520	630	601
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	63	100	133	147	231	180
日本	15	27	41	44	55	62
アメリカス	46	59	77	80	91	102
中国	2	13	13	19	77	2
EMEA	0	1	1	1	1	2
イーストアジア・グローバルサウス	—	0	1	3	8	11
デエビゴ(不眠症治療剤)	121	132	152	133	137	154
日本	102	110	126	107	110	111
アメリカス	15	16	19	19	19	23
中国	1	1	1	1	1	10
EMEA	1	1	1	1	2	3
イーストアジア・グローバルサウス	3	4	5	6	6	8
フィコンパ(抗てんかん剤)	74	73	75	77	81	79
日本	19	19	21	18	21	20
中国	9	13	10	10	14	12
EMEA	40	35	39	43	40	41
イーストアジア・グローバルサウス	5	5	5	5	6	6
メチコバル(末梢性神経障害治療剤)	66	70	73	58	64	74
日本	22	21	23	20	21	21
中国	30	32	34	19	29	35
イーストアジア・グローバルサウス	9	12	11	11	8	11
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	69	61	62	59	67	64
中国	21	18	19	19	24	20
イーストアジア・グローバルサウス	38	34	36	33	37	38
その他	52	50	55	46	50	51

・中国におけるレケンビの売上収益は、2025年度1Qに代理店が関税リスク対応として在庫を積み増した影響を含みます。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オンコロジー領域製品計	941	913	932	872	898	878
レンビマ/Kisplyx(抗がん剤)	835	813	833	803	839	826
日本	34	36	37	33	36	35
アメリカス	598	561	596	568	581	564
中国	70	60	62	55	69	58
EMEA	101	112	102	105	110	121
イーストアジア・グローバルサウス	33	44	37	43	43	49
ハラヴェン(抗がん剤)	84	79	77	49	39	34
日本	19	19	20	12	9	7
アメリカス	27	22	16	10	9	8
中国	6	6	5	5	3	3
EMEA	24	23	26	14	9	6
イーストアジア・グローバルサウス	9	9	10	7	9	9
その他	22	21	22	20	20	18

11. 株式の状況

1) 株式数・株主数の状況

2025年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの 平均持株数
1,100,000,000株	291,649,149株	9,534,452株	117,908名	2,474株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2) 大株主の状況

2025年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	53,656千株	19.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	29,025千株	10.29
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	13,409千株	4.75
JPモルガン証券株式会社	8,344千株	2.96
日本生命保険相互会社	6,500千株	2.30
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	5,974千株	2.12
ゴールドマン・サックス証券株式会社 BNYM	4,709千株	1.67
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,212千株	1.49
JP MORGAN CHASE BANK 385781	3,882千株	1.38
株式会社埼玉りそな銀行	2,800千株	0.99

・株式数は、千株未満を切捨てて表示しています。

・持株比率は、発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する割合です。

・自己株式は9,534千株(発行済株式の総数に対する所有割合3.27%)であり、議決権がないため表中に記載していません。

・当中間期末までに以下の大量保有報告書(変更報告書)が提出されていますが、当中間期末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、()内の保有割合は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する割合(切り捨て表示)です。

① 野村證券株式会社他、全3社の共同保有として、18,380千株(6.20%)を2020年7月15日現在で保有(2020年7月21日付変更報告書)

② ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーとして、14,044千株(4.82%)を2025年5月30日現在で保有(2025年6月6日付変更報告書)

③ ブラックロック・ジャパン株式会社他、全10社の共同保有として、22,803千株(7.82%)を2025年9月15日現在で保有(2025年9月18日付変更報告書)

④ 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社の共同保有として、18,572千株(6.37%)を2025年9月15日現在で保有(2025年9月19日付変更報告書)

3) 所有者別所有株式数推移

	2024年度		2025年度		
	3月末	構成比(%)	9月末	構成比(%)	増減
金融機関	104,584千株	35.9	102,352千株	35.1	△2,232千株
金融商品取引業者(証券会社)	13,822千株	4.7	17,396千株	6.0	3,574千株
その他の法人	14,706千株	5.0	14,029千株	4.8	△676千株
外国法人等	92,133千株	31.6	91,753千株	31.5	△380千株
個人・その他	56,869千株	19.5	56,582千株	19.4	△286千株
自己株式	9,533千株	3.3	9,534千株	3.3	1千株
合計	291,649千株	100.0	291,649千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

(人)

	2022年度 3月末	2023年度 3月末	2024年度 3月末	2025年度 9月末
連結期末従業員数	11,076	11,067	10,917	10,839
日本	4,490	4,311	4,330	4,477
アメリカス(北米)	1,755	1,920	1,866	1,702
中国	2,002	1,948	1,862	1,857
EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)	1,234	1,305	1,351	1,363
イーストアジア・グローバルサウス (韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)	1,595	1,583	1,508	1,440

2) 個別従業員数

(人)

	2022年度 3月末	2023年度 3月末	2024年度 3月末	2025年度 9月末
個別期末従業員数	3,043	2,984	2,998	3,027
生産	395	400	399	409
研究開発	909	882	893	913
販売・管理	1,739	1,702	1,706	1,705

・期末従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)を表示しています。

13. 主要開発品

NCT: ClinicalTrials.gov の識別番号、jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の識別番号
日: 日本、米: 米国、欧: 欧州、中: 中国、P: Phase (臨床試験段階)
○: 2025 年 4 月以降の進捗、◎: 2025 年 7 月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード: BAN2401 一般名: レカネマブ 製品名: レケンビ		導入品 (BioArctic AB)		
薬効／作用機序: アルツハイマー病治療剤／抗 Aβ プロトフィブリル抗体		注射剤 (点滴静注・皮下注射)		
[概要] アミロイドβ (Aβ)プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている Aβ プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病(AD)の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、欧州(EU)、中国、韓国、台湾など 51 の国と地域で承認を取得し、9 カ国で承認申請中です。点滴静注による維持投与について、米国、中国等において承認を取得し、5 つの国と地域で申請中です。2025 年 8 月、米国において皮下注オートインジェクター(SC-AI)による維持投与の承認を取得し、同年 9 月、SC-AIによる初期投与の生物製剤承認一部変更の段階的申請を開始しました。なお、米国における SC-AI は、LEQEMBI IQLIK として発売しています。Biogen Inc.と共同開発を行っています。				
早期 AD		欧州 (EU)	○	承認 (2025 年 4 月)
301 試験 (Clarity AD)	NCT03887455			
早期 AD 点滴静注維持投与 (用法用量追加)		中国 英国 韓国	◎ ○ ○	承認 (2025 年 9 月) 申請 (2025 年 4 月受理) 申請 (2025 年 5 月)
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455			
早期 AD 皮下注射製剤維持投与 (剤形追加)		米国	◎	承認 (2025 年 8 月)
301 試験	NCT03887455			
早期 AD 皮下注射製剤初期投与 (剤形追加)		米国	◎	段階的申請 (2025 年 9 月開始)
301 試験	NCT03887455			
プレクリニカル AD (効能効果追加)		日米欧		PⅢ
303 試験 (AHEAD 3-45)	NCT04468659			

開発品コード: E2006 一般名: レンボレキサント 製品名: デエビゴ		自社品		
薬効／作用機序: 不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤		経口剤		
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。				
不眠症		中国	○	承認 (2025 年 5 月)
311 試験	NCT04549168			

開発品コード: E2814 一般名: etalanetug		共同創出品 (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)		
薬効／作用機序: 抗 MTBR タウ抗体		注射剤		
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域 (Microtubule binding region: MTBR) タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU) が実施する臨床試験 (フェーズⅡ/Ⅲ試験 Tau NexGen) において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。2025 年 9 月、米国 FDA よりファストトラックの指定を受領しました。				
優性遺伝 AD (レカネマブとの併用療法)		日米欧		PⅡ/Ⅲ
Tau NexGen 試験	NCT05269394			
優性遺伝 AD		米欧		PⅠb/Ⅱ
103 試験	NCT04971733			
孤発性早期 AD (レカネマブとの併用療法)		日米		PⅡ
202 試験	NCT06602258			

開発品コード: E2086			自社品
薬効／作用機序: オレキシン受容体作動薬			経口剤
[概要] 当社独自のオレキシンプラットフォームを活用し創製されたオレキシン受容体作動薬で、日中の過度の眠気や情動脱力発作などを改善することを期待しています。			
ナルコレプシー	米国		P I b

開発品コード: E2511			自社品
薬効／作用機序: TrkA 統合シナプス再生剤			経口剤
AD	米国		P I

開発品コード: E2025			自社品
薬効／作用機序: 抗 EphA4 抗体			注射剤
AD	米国		P I

(2)がん

開発品コード: E7080 一般名: レンパチニブ 製品名: レンビマ		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／キナーゼ阻害剤		経口剤	
[概要] 血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)の PDGFRα、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんおよび肝細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムブロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん(全身療法後)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認(一部の条件付き承認の国を含む)を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(米メルク社)と共同開発を行っています。			
抗 PD-1 抗体ペムブロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発(効能効果追加)			
肝細胞がん(肝動脈化学塞栓療法との併用療法)		中国	◎ 承認(2025 年 7 月)
LEAP-012 試験	NCT04246177		
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発(効能効果追加)			
肝細胞がん		日本	P I b

○ 食道がん(ファーストライン)を対象とした日本、米国、欧州、中国でフェーズⅢ段階にあった LEAP-014 試験について、独立データモニタリング委員会の勧告に従い、中止を決定したため、本表から削除しました。

◎ 日本、米国、欧州で実施していた LEAP-012 試験(フェーズⅢ試験)について、終了を決定しました。

開発品コード: E7389 一般名: エリブリン 製品名: ハラヴェン		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤		注射剤	
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫(日本では悪性軟部腫瘍)に係る適応で承認を取得しています。			
単剤療法(剤形追加)			
リポソーム製剤		日欧	P I
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発(剤形追加)			
リポソーム製剤		日本	P I b/Ⅱ
120 試験	NCT04078295		

開発品コード: E7090 一般名: タスルグラチニブ 製品名: タスフィゴ			自社品
薬効／作用機序: 抗がん剤／FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤			経口剤
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。日本において、胆道がんに係る適応で承認を取得しています。			
乳がん	日本		P I b

開発品コード: MORAb-202 一般名: farletuzumab ecteribulin (FZEC)		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／葉酸受容体 α をターゲットとする抗体薬物複合体(ADC)		注射剤	
[概要] 抗葉酸受容体 α 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 陽性の子宮内膜がん、卵巣がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。2024 年 6 月、Bristol Myers Squibb とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。			
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん		日米欧	P II
205 試験	NCT05613088		
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん(単剤またはレンバチニブとの併用療法)		日米欧	P I / II
201 試験	NCT04300556		

○ 非小細胞肺癌を対象とした米欧で、フェーズ II 段階にあった 203 試験について、試験が終了したため、本表から削除しました。

開発品コード: E7386		共同創出品 (PRISM BioLab)	
薬効／作用機序: 抗がん剤／CBP/ β -catenin 相互作用阻害剤		経口剤	
[概要] CREB-binding protein (CBP)と β -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。			
固形がん (ペムブロリズマブとの併用療法)		日米欧	P I b/ II
201 試験	NCT05091346		
固形がん (レンバチニブとの併用療法)		日米欧中	P I b/ II
102 試験	NCT04008797		
固形がん		日米欧	P I

開発品コード: H3B-6545		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／ER α 阻害剤		経口剤	
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体(ER) α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性／HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん(CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法)	米欧		P I b

開発品コード: E7766		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		米欧	P I b

○ E7130 について、日本でフェーズ I 段階にあった固形がんを対象とした開発を終了したため、本表から削除しました。

(3) グローバルヘルス

開発品コード: E1224 一般名: ホスラブコナゾール		自社品	
薬効／作用機序: 抗真菌剤／エルゴステロール合成阻害剤		経口剤	
[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative(DNDi)と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ(菌腫)の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫(eumycetoma)に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズⅡb/Ⅲ試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)の助成を受けています。			

開発品コード: SJ733		共同開発品(ケンタッキー大学)	
薬効／作用機序: 抗マラリア剤／ATP4 阻害剤		経口剤	
[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治療と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。			

開発品コード: E1018		共同創製品(ブロード研究所)	
薬効／作用機序: 抗マラリア剤／タンパク質合成阻害剤		経口剤	
[概要] ブロード研究所との共同研究により見出された、マラリアを迅速に治癒し、マラリア原虫の伝播を断ち切ることでマラリアの再発を防ぐことが期待される化合物であり、当社がフェーズⅠ試験を実施しています。米国国防総省の助成を受けています。			
マラリア	米国		P I

(4) 消化器

開発品コード: AJG555 製品名: モビコール配合内用剤		導入品 (Norgine)		
薬効／作用機序: 慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤		経口剤		
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。				
慢性便秘症 1 歳児の適応 (用法用量追加)		日本	◎	申請 (2025 年 10 月)
CT3 試験	jRCT2031230142			

開発品コード: AJM347		自社品	
薬効／作用機序: —		経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州		P I

開発品コード: EA1080		自社品	
薬効／作用機序: —		経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州		P I

開発品コード: EA3571		自社品	
薬効／作用機序: —		経口剤	
代謝機能障害関連脂肪肝炎 (EA ファーマが開発)	日本		P I

(5) その他

開発品コード: E6742		自社品	
薬効／作用機序: 全身性エリテマトーデス (SLE) 治療剤／TLR7/8 阻害剤		経口剤	
[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体 (TLR) は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) に採択されています。			
SLE		日本	P I / II
101 試験	NCT05278663		

© E8001 について、日本でフェーズ I 段階にあった臓器移植に伴う拒絶反応を対象とした試験を終了したため、本表から削除しました。